境港の船を、見つめ、つくり、浮かべる。

船ゼミ

船大工・美術作家とたどる、境港の船と水辺の文化。

境港は、日本海や境水道、中海とともに暮らし、船によって人や物、仕事、文化が行き交ってきたまちです。船ゼミでは、船大工・美術作家の小川智彦さんとともに境港とその周辺に残る船を調べ、その形や技術、地域に残る記憶を手がかりに、一艘の木船をつくります。完成した船だけでなく、調べること、つくること、技にふれること。その過程そのものをまちにひらきながら、境港と船のつながりを見つめ直してみましょう。

開催期間 2026年
9.19(土)▸23(祝)

参加費 無料　1回だけの参加でもOK!

船づくりの作業小屋
〒684-0033
鳥取県境港市上道町288-1

▲さかえシェアサイクルはこちら

※駐車スペースが少ないため、できるだけ公共交通機関（**みなとーる**）や「**さかえシェアサイクル**」などをご利用ください。



秋の5連休、境港で船づくりにふれる。

船大工・美術作家の小川智彦さんとともに、境港に残る船の技術や記憶にふれながら実際に一艘の木船をつくっていきます。
制作現場をまちにひらく5日間。船を見に来る、話を聞くだけでも構いません。気になるところから、ぜひご参加ください。

9/19(土)
作業小屋 OPEN DAY
①10:00~12:00
②14:00~16:00
＼船づくりの様子を初公開!／



9/20(日)
作業小屋 OPEN DAY
10:00~12:00
船小話
船の写真や思い出を持ち寄って
14:00~16:00
境港の船の写真や思い出を持ち寄ってください!小川さんと一緒に船や港のことをゆっくり語りましょう。

9/21(祝)
作業小屋 OPEN DAY
10:00~12:00
子ども向けワークショップ
湯だめでスプーンづくり
14:00~15:30
会場 船づくりの作業小屋
熱を加えて木を曲げる船大工の技「湯だめ」でスプーンをつくろう。

9/22(祝)
作業応援会 **焼きだめ**
9:00~16:00
会場 境港駅前公園
木を曲げる技術「焼きだめ」を見学したり手伝ってみませんか。曲げた木は今回つくる船に使います。

9/23(祝) 予備日
※22日が雨天の場合

今後の予定

9月	10~11月	12月頃	3月頃
船づくりスタート ・秋の5連休プログラム	船づくり制作公開 ・見学、ワークショップなど	完成・お披露目 (予定)	船を水に浮かべる ・船漕ぎワークショップ(予定)

※日程・内容は変更となる場合があります。最新情報は公式WEBサイトでご案内します。



講師紹介 船大工・美術作家 **小川智彦**さん

1971年北海道生まれ、京都市在住。2014年に富山県氷見市で日本の伝統的な造船技術を学び、以後、木造和船の制作を続ける。現存する木造和船の調査・実測にも取り組み、地域に残された船の形、技術、記憶を記録している。美術作家としても、さまざまな素材を使った作品制作やワークショップを行っている。

参加方法
気になるプログラムからぜひご参加ください。
お申し込みはこちら▶

＼船ゼミの詳しい日程やワークショップ等、最新情報はこちら!／

公式WEBサイト　Instagram

さかえリビングラボ
さかえリビングラボ運営事務局(㈱エートス内)
TEL. 050-3442-4309
MAIL. info@sakae-livinglab.jp
WEB. sakae-livinglab.jp

船ゼミは、さかえリビングラボ まちなか実験2026の取り組みの一つです。さかえリビングラボは境港市委託事業の『新しい"まちなか"創生ビジョン策定業務』の一環として実施しています。